

# 北陸地質情報展

## 「ぼくらをのせた大陸のかけら」の特集について

飯笹 幸吉<sup>1)</sup>・地質情報展事務局<sup>1)</sup>

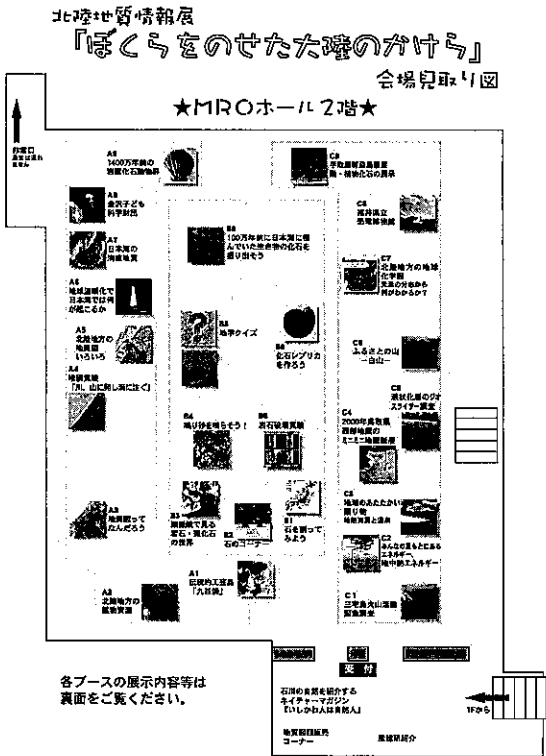
平成13年度の北陸地質情報展では、金沢市MROホールにおいて2001年9月21日から3日間にわたり、「ぼくらをのせた大陸のかけら」と題して30テーマを紹介しました。地質情報展は、今年で5回目を迎えました。今回の開催の趣旨も、情報展開催当初から掲げている「地球を知ってもらうこと」を中心に据えて、一般の方々を引きつける展示を心がけて実施しました。ここでは、北陸地質情報展の主な展示内容と会場風景などの概要を紹介し、個々の展示の詳細に関しては本特集号の内容をご覧ください。また、本情報展の宣伝ポスターや展示の



写真1  
 金沢市犀川の露頭において採取した堆積岩から掘り出した貝化石をクリーニングしている児童。



写真2 岩石破壊実験コーナーにおいて簡易型油圧装置を操作している児童。岩石試料は、破壊による破片の飛散防止のためにアクリルケースによって防護されている。



第1図 北陸地質情報展の会場における展示ブースの配置図。

1) 産総研 地質調査情報部

キーワード: 北陸, 地質情報展, 大陸のかけら, 実習, 体験



写真3 石割のコーナーにおいて、ヘルメット姿の野外調査スタイルで石を割る児童。



写真5 ジオスライサーによる液状化現象の剥き取り標本に見入る来場者。

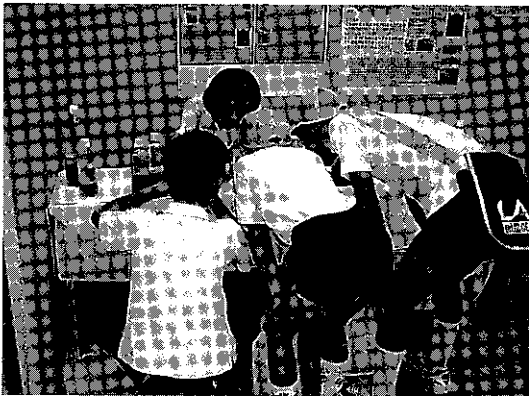


写真4 液状化現象をわかりやすく見せてくれる簡易器具「エキジョッカー」の説明に聞き入る堆積実験コーナーの児童たち。

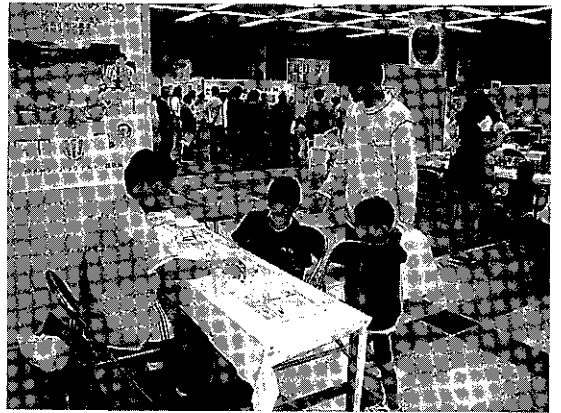


写真6 地球化学のコーナーでは、金沢市内の川、池や水道水などの身近な試料を使ったわかりやすい水質試験を演じた。

した「岩石破壊実験」コーナーなどを新たに企画しました(写真1, 2)。また、昨年の情報展では会場の制約により断念した「ハンマーで日本各地の石を割る」コーナーを復活させました(写真3)。このような実験・体験コーナーの他に、化石レプリカ作成、石のコーナー、鳴り砂、堆積実験などのコーナーを昨年以上に充実させてのぞみました(写真4)。さらに、開催地の北陸地方に関係する地質、鉱物資源、化石、古環境、海底地質、環境地質、地質図の利用法、隕石などのポスター・標本展示のほか、トピックスとして三宅島火山の噴火調査、鳥取西部地震や地中熱エネルギーの利用などに関する

紹介も行いました(写真5, 6)。

情報展の開催中に950人を越える方々の来場がありました。来場された方々の年齢構成をみると、学会関係者とその他が600名弱、大学生が100名余り、小学生が213名でした。中・高生はそれぞれ約30名でした。入場者の中で特に強く印象に残っているのは、初日に来場した味噌蔵小学校の児童の中に、その後連日会場に足を運んでくれた子供たちがいたことでした。延べ人数200名を越える小学生の中に、この小学校の児童たち多数が含まれていました。このようなリピーターが出るなど昨年では見られなかった現象が起きたことは、今回の情報展がこれまで以上に人を引きつける内容を

持っていたのではと考えています。

小学生のリピーターたちにとって、情報展の魅力はどこにあったのでしょうか？ 実際に地質の世界を疑似体験できることや自分たちが作製した標本などを持ち帰ることができることにあったのではないかと考えています。開催日初日、先生に引率された子供たちは、展示の全体を見て回る時間はないようでした。実習・体験コーナーは、順番待ちしなければならぬほど人気があり、参加できずに終わった子供たちが結構いたようです。そのために学校から帰宅後、ただちに会場を訪れた児童も少なからずいたようです。二日目、子供たちは、まずは実習・体験コーナーに駆け込み、十分満足した後で、そのほかの展示も見ているようでした。夢中で取り組んでいる子供たちの姿がとても印象的でした。一方、カラフルなポスターが語りかける地質の世界に見入り、自然の神秘に思いを巡らしているのは、大人の方が多かったようです。

今回の情報展では、事務局として事前に小学校や高校を訪問し展示内容の広報活動を行いました。この成果が、直接会場でみられたわけではありませんでしたが、会場に来られた小学生達は、会場近くにある学校から授業の一環として先生に引

率されてきていました。同じく、授業としてこられた高校生もおり、これらは金沢大学を中心とする事前の宣伝活動の成果でした。このような結果から、小学生のような子供たちに多く来場してもらうためにも、開催地周辺の宣伝活動とあわせて会場周辺の学校に限定した説明会の必要性をあらためて考えさせられました。

最後に、北陸地質情報展が多くのの方々のご協力によって成功裡に終わることができたことを、事務局一同感謝しております。本情報展に出展していただいた博物館、企業、財団、研究機関等の方々に、あらためてお礼申し上げます。また、後援をいただいた石川県教育委員会、金沢市教育委員会、金沢大学、北陸放送に感謝いたします。特に、北陸放送では、テレビおよびラジオでの放送をしていただきました。

北陸地質情報展の開催内容は、産総研ホームページ (<http://www.gsj.jp/HomePage.html>) に掲載しております。

---

IIZASA Kokichi (2002) : Hokuriku in Geological Information Exhibition.

<受付：2001年12月25日>